

2023年 11月 6日

これまでに大動脈解離の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

筑波記念病院心臓血管外科では「急性大動脈解離発症前後の大動脈径変化に基づくステントグラフト至適サイズ選択の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、【大動脈解離の患者さんに使用するステントグラフトの合併症を減らすために最適なステントグラフトのサイズを決めるための方法】を調べることを主な目的としています。そのため、過去に大動脈解離の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は筑波記念病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

2023年11月6日 ～ 2024年3月31日まで

対象調査期間

2012年1月1日 ～ 2023年9月30日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに大動脈解離の治療を受けた患者さんのカルテ、CT画像です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は筑波記念病院に帰属し、あなたには帰属しません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

筑波記念病院 心臓血管外科

職名 心臓血管外科診療科長

つくば大動脈血管内治療センター センター長

研究責任者：西 智史

TEL：029-864-1212(代) FAX：029-864-8135